アンサーバックシステム
リモコンエンジンスターター＆ターボタイマー

取扱説明書／保証書

BeTime

A-54

この度はリモコンエンジンスターターを、お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。尚お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

目　次

はじめに
●主な特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
●使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
●各部の名称と梱包内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4・5
●取付前の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

取付け
●接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～12
●LED確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
●メインユニットについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14・15
●フットブレーキ配線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
●L端子検出配線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

リモコンの使用方法
●ID登録/エンジンを始動・停止させる/アンサーバック確認・・・・・ 18
●リモコンの追加登録方法/セル＆グロー時間設定・・・・・・・・・・19

アンテナユニットの操作方法
●アイドリング時間とターボタイマーの設定について・・・・・・・・ 20

機能説明
●セキュリティー機能と守護神連動操作について ・・・・・・・・・・ 21
●ワイヤレスドアロック機能について・・・・・・・・・・・・・・22～24
●カーテシ検出による安全機能)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

その他
●アンテナユニット・メインユニットの固定方法/警告ステッカーの貼り付け場所・・・・26
●運転するには/リモコンを紛失した時は/リモコンの電池交換について・・・・27
●故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
●アフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
●仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
●保証規定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
●保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

COMTEC
P-Ver.1　221030

主な特徴

■リモコンでエンジン始動が確認できる双方向エンジンスターター＆ターボタイマー。
■アンサーバックはメロディー＆LEDランプ表示のリモコンで分かりやすくお知らせ。
■セキュリティーモードの採用で不審者に心理的な威圧感を与えます。
■本機リモコンにより当社別売の自動車盗難警報装置「守護神」のON/OFF操作が可能です。
■リモコン電波視界到達距離3000M以上。
■ワイヤレスドアロック機能搭載。
■リモコンはダブルスイッチ方式採用でうっかり押しを防止。
■環境条件に合わせてアイドリング時間を変更可能。（10分・20分・30分・40分）
■走行条件に合わせてターボタイマー時間の変更可能。（OFF・30秒・1分・5分）
■車種に合わせてグロー時間の変更可能。（5秒・8秒）
■8日間、車のエンジンをかけなかった場合、本体の消費電力を自動的に抑えるスリープ機能付き。
■万一に備えた安全機能

特許No.2526288

（1）独立配線システム
独立配線システムの採用でスターター作動中にキースイッチ内に電気が流れないのでキーを抜いた状態でIG2とST2の回路が接している車種の場合でも正常に電気が流れ、サブグロー・オルターネーター・バッテリー・コンピューターなどの破損を防止することができます。

（2）IDコードによる誤作動防止機能
本機のリモコンには数千万通りのIDコードが登録されているため、他のリモコンによる誤作動を防止します。万一リモコンを紛失された場合でも新しいリモコンを購入してIDコードを再登録しなおせば、ご使用できます。

（3）A/Tシフトストップ回路
本機が作動中(アイドリング中)にA／Tシフトレバーをパーキング[P](もしくはニュートラル[N])から他のポジションへ移動させた場合、自動的にエンジンが停止します。

（4）フットブレーキストップ回路
本機が作動中(アイドリング中)にフットブレーキを踏むと、エンジンが自動的に停止します。※（3）と（4）はどちらか選択になります。

（5）ACC検出機能
本機作動時のアイドリング中、キーがACCの位置で約3秒経過するとエンジンを停止します。

（6）バッテリー電圧検出機能
セルモーター稼動時のバッテリー電圧を検出し、8V以下まで低下した場合はイグニッションキーON時にLEDでお知らせします。

（7）ボンネットセンサー回路(オプション)
当社別売ボンネットセンサー(Be−960)を取付けることにより本機が作動中(アイドリング中)、ボンネットをあけるとエンジンを強制停止できます。※ボンネットを開いている時はリモコン操作をしても本機は作動しません。

（8）ドアオープン(カーテシ)ストップ回路
ドアオープン(カーテシ)センサーを取り付けることにより本機が作動中(アイドリング中)、ドアを開けるとエンジンを強制停止できます。※ドアを開いている時は、リモコン操作をしても本機は作動しません。

使用上の注意

⚠ 危険

事故・火災等の危険性がある、下記の状態や場所での使用は避けてください。

■公道や公共の駐車場での使用は道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。
■排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
■ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
■火災の危険性がある燃えやすい物の近くでは、使用しないでください。
■暴走事故を防止するため、キーをOFFにする時はA／Tシフトレバーを P(パーキング) に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。特に、日産A／T車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、P(パーキング) 以外でもキーを抜くことができるため、必ず守ってください。
■暖気運転の直後や本機作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を充分に冷ましてから行ってください。
■お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
■リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。

⚠ 注意

車の故障又は本機使用中、機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用は注意してください。

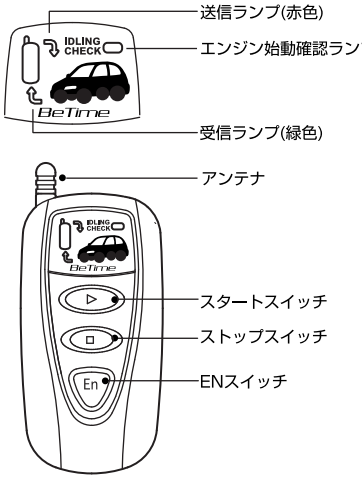
■本機は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
■リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
■リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルは、はがさないでください。
■リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、罰せられることがあります。
■ターボタイマー（スターター含む）や他社盗難警報機との併用取付けはできません。
■キーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックは、リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
■本機作動中、オートポジションステアリング及びシートが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
■オートライトコントロールシステムは、降車時にスイッチをOFFにしてからキーを抜いてください。(オートライト配線を行ってない場合)

キーでエンジン始動及び停止した場合、車載のスピーカーから異音が鳴ることがありますが、これは異常ではありません。

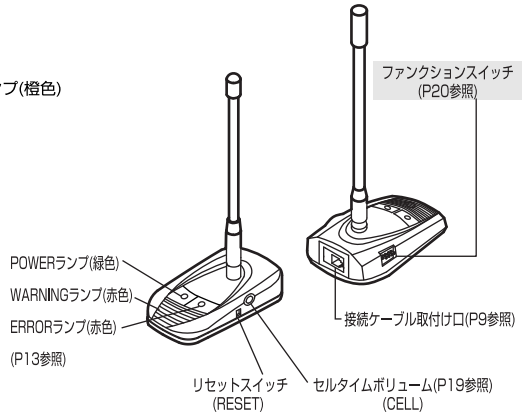
各部の名称と梱包内容

■リモコン(1個)

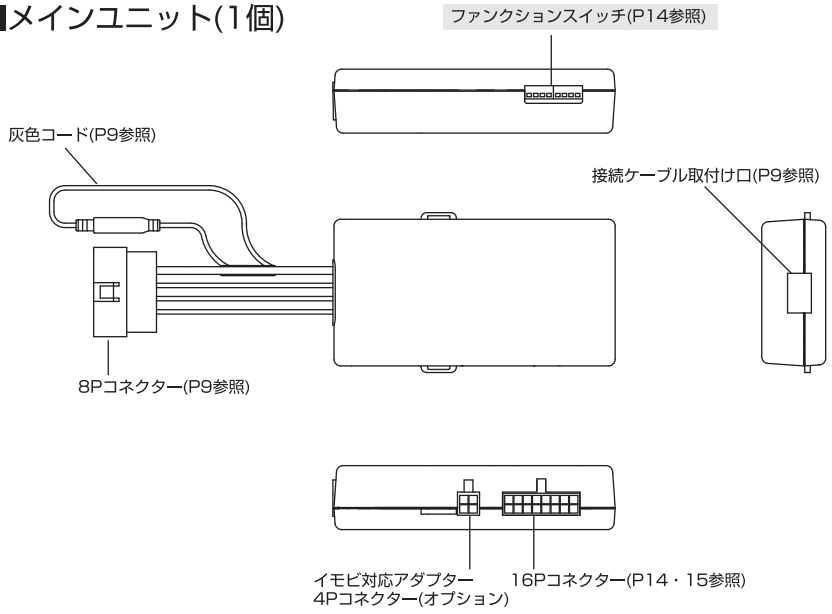
ディスプレイ拡大図



■アンテナユニット(1個)

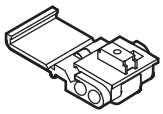


■メインユニット(1個)



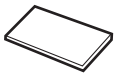
■付属品

■エレクトロタップ(6個)



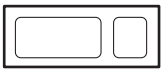
■コードクランプ(6個)

■両面テープ(アンテナユニット固定用　1枚)

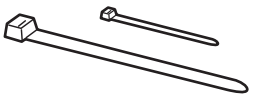


■接続ケーブル(1本)

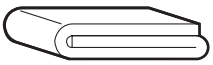
■警告ステッカーシート（1枚）



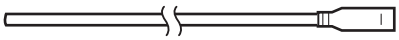
■インシュロック
(大)　(3本)
(小)　(7本)



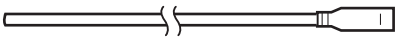
■保護テープ(1枚)



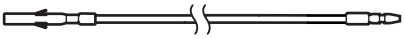
■フットブレーキ端子延長線(黄色)(P16参照)(1本)



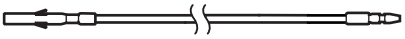
■L端子延長線(白色)(P17参照)(1本)



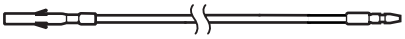
■自動車盗難警報装置「守護神」(当社別売)接続端子線(茶色)(P21参照)(1本)



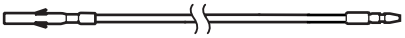
■ドアロック端子線(緑色)(P22～24参照)(1本)



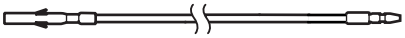
■ドアアンロック端子線(紫色)(P22～24参照)(1本)



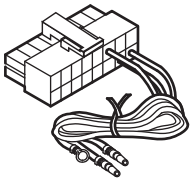
■ドアポジション端子線(桃色)(P22～24参照)(1本)



■カーテシ端子線(青色)(P25参照)(1本)



■16Pコネクター(1個)
（アース端子線(黒色)(P8参照)
フットブレーキ端子線(黄色)(P16参照)
L端子線(白色)(P17参照)）各一本付



取付け前の注意

取付ける前に下記の点に注意して、本機の取付けを行ってください。

❶ 取付けに必要な工具等

・サーキットテスター　・ドライバー
・プライヤー　・スパナ又はボックスレンチ
・カッターナイフ　・絶縁テープ

☆その他の工具が必要になる場合があります。

❷ シフトレバーとパーキングブレーキ(サイドブレーキ)について

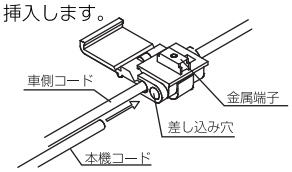
シフトレバーをP(パーキング)にして、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)を確実にかけ、イグニッションキー(IGキー)を抜きます。

❸ 配線について

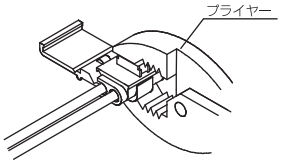
●アンダーカバー内へ収納する際、車の金属部（コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等）に専用ハーネスやコード類が接触しないように配線してください。配線が接触する可能性のある場合は、保護テープを貼って保護してください。

❹ エレクトロタップ使用方法について

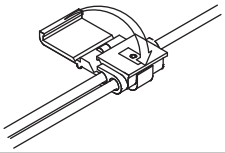
1 車側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、本機コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。



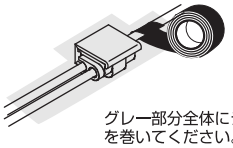
2 プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。



3 カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。



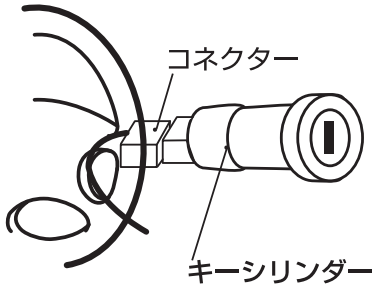
4 絶縁テープを巻いて作業終了です。



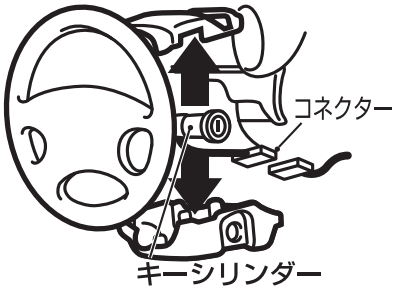
取付け（接続）

1 車のキーシリンダーから出ているコネクターを探してください。

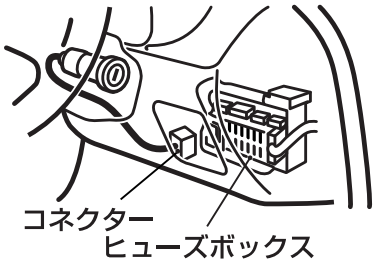
①キーシリンダー直付けタイプ



②キーシリンダーから10ｃｍ～20ｃｍの場所にあるタイプ

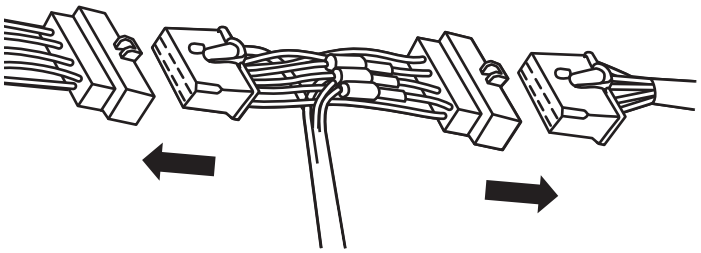


③ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ



※コネクターの場所は車種によって異なります。
(ほとんどの車が上記1～3のいづれかにあてはまります。)
車種によってはコネクターが2ケ所存在する場合もあります。

2 車側のコネクターを外し、外したコネクター間を専用ハーネスで接続してください。



⚠ **注意**

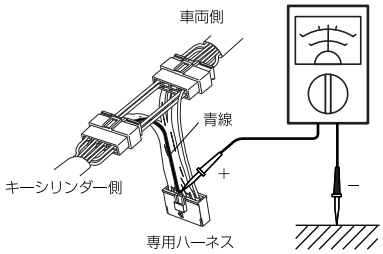
コネクターを外して、キーを回しても、エンジンはかかりません。
もしかかった場合は、そのコネクターは違いますので別のコネクターを探してください。

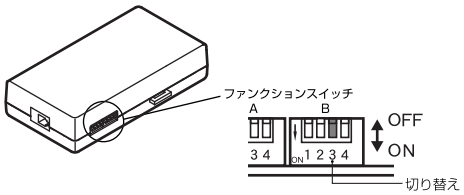
取付け（接続）

3 メインユニットのファンクションスイッチB-3の設定

⚠ 注意 この設定をしないと、ABSランプが点灯したり、エンジンがかからない場合があります。

①テスターを図のように専用ハーネスのキーシリンダー側の青線(IG2)にあてます。
（※青線のないハーネスはメインユニットファンクションスイッチB-3をOFFにします）
②キーでセルをまわしている間に、青線(IG2)が
0(v)の時は、メインユニットファンクションスイッチB-3をONにします。
12(v)の時は、メインユニットファンクションスイッチB-3をOFFにします。



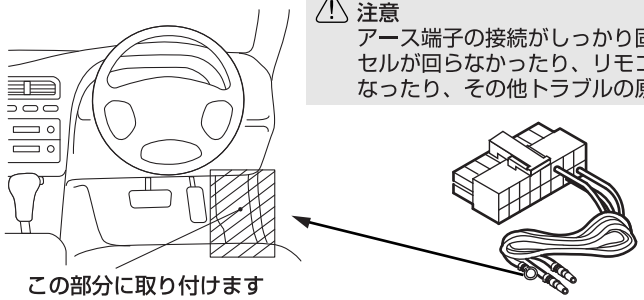


セル駆動時 青線（IG2)の電圧	ファンクションスイッチ B-3
0V	ON(ほとんどのホンダ車はON)
12V	OFF(ほとんどのトヨタ車はOFF)

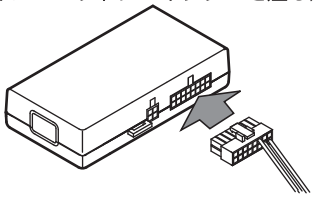
4 アースの取付

①アース端子（黒コード）を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めしてください。

⚠ 注意
アース端子の接続がしっかり固定していないと、セルが回らなかったり、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。



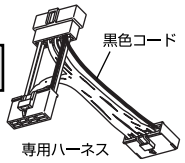
②メインユニットにコネクターを差し込みます。

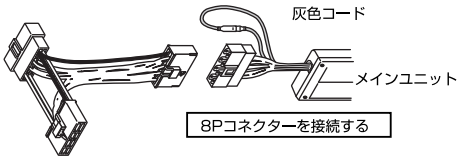


取付け（接続）

5 専用ハーネスの8Pコネクターとメインユニットの8Pコネクターを接続します。
下記の図①・②・③から専用ハーネスの種類を確認し、配線してください。

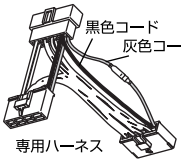
①
専用ハーネスに
黒色コードが1本

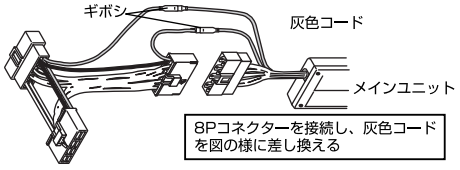




8Pコネクターを接続する

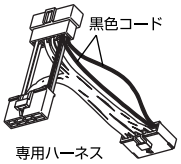
②
専用ハーネスに
黒色コードが1本
灰色コードが1本

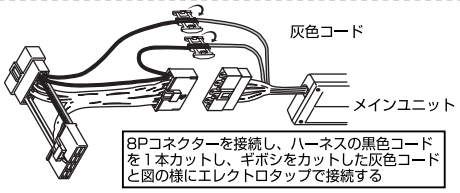




8Pコネクターを接続し、灰色コード
を図の様に差し換える

③
専用ハーネスに
黒色コードが2本

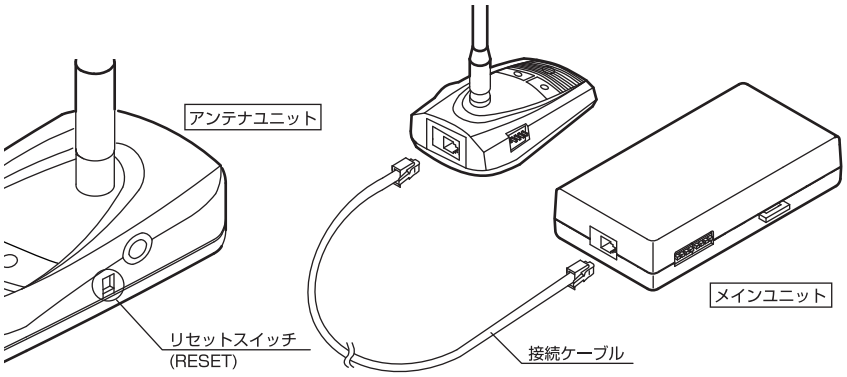




8Pコネクターを接続し、ハーネスの黒色コード
を1本カットし、ギボシをカットした灰色コード
と図の様にエレクトロタップで接続する

6 アンテナユニットとメインユニットの接続

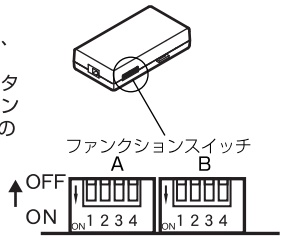
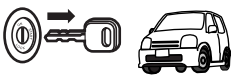
付属接続ケーブルをアンテナユニットとメインユニットの取付け口に、それぞれ接続してください。

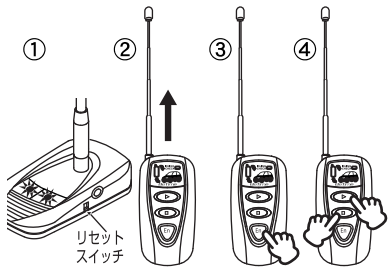
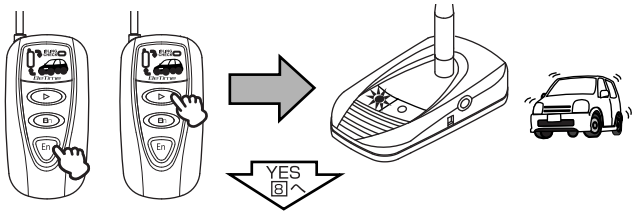


注意
接続した瞬間、セルが回ることがあります。
その場合は、アンテナユニットのリセットスイッチを押してください。

取付け(接続／作動確認)

⚠ 取付け・接続後必ず以下の作動確認を行ってください。
作動確認前に安全のため、必ずサイドブレーキをかけてください。
下記の手順に従って作動確認を行ってください。対処方法は次のページを参照してください。

作動確認手順	対処方法
1 アンテナユニットとメインユニットのファンクションスイッチを全てOFFにしてください。 但し一部車種は、下記の設定にします。 ・ダイハツムーヴの一部の車種はリモコンでかけた時、アンテナユニットのPOWERランプが点灯したままセルがまわらずエンジンが始動しない場合やターボタイマーを使用した場合にキーを抜いてPOWERランプが点灯したままエンジンが停止しない時は、B-1のスイッチをONにして下さい。 ・ほとんどのホンダ車等でB-3をONにしている場合はそのままにして下さい。 (P8 **3** 参照) 	
2 キーをACC(ｱｸｾｻﾘｰ)の位置まで回してください。 Q:この時、ラジオ等アクセサリー電源のON／OFF操作ができますか？ YES 3へ NO	P12 A
3 キーをONの位置までまわしてください。 Q:この時、メーターパネル等の電源がONになり、アンテナユニットのPOWERランプ（緑）が点灯しますか？ YES 4へ NO	P12 B
4 キーをST(セル)の位置までまわしてください。 Q:この時、エンジンが始動しますか？ YES 5へ NO	P12 A
5 キーをOFFの位置まで回して、抜いてください。  Q:この時、エンジンが停止しますか？ YES 6へ NO	P12 C

作動確認手順	対処方法
6 IDコードの登録 ①パーキングにし、キーを抜いた状態で、アンテナユニットのファンクションスイッチNO.1をOFFにします。(ID登録入力時のみOFFにします) その後、RESETを押してください。(アンテナユニットのPOWERランプとERRORランプが点灯します。) ②リモコンのアンテナを十分にのばします。 ③リモコンのEN スイッチを押します。 ④リモコンの送信ランプが点滅している間にスタートとストップスイッチを同時に押します。  Q:この時、リモコンの受信ランプ(緑)が点灯して、アンテナユニットランプは全て消えましたか? YES 7へ NO	P12 D
7 リモコンでENスイッチを押した後、リモコンのランプが点滅している間にスタートスイッチを押します。 Q:この時、アンテナユニットのPOWERランプ(緑)が点灯し、エンジンが始動しますか? (エンジン始動後、アンテナユニットPOWERランプは点滅します。)  YES 8へ NO	P12 E
8 エンジン始動中にキーを入れ、OFFの位置のままフットブレーキを踏み、シフトレバーをP(ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ)又はN(ﾆｭｰﾄﾗﾙ)ポジション以外の位置へ動かします。 Q:この時、アンテナユニットのERRORランプとPOWERランプが同時に点滅して、エンジンは停止しますか? YES NO すべての作動は正常です。一旦キーをONまで回せば点滅は解除され、キーを抜けば終了です。	P12 F

取付け(接続／対処方法)

A

1.専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P7参照)
2.専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P7～9参照)
3.お車に適した専用ハーネスを使用していますか？
(車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)

B

1.専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P7参照)
2.専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P7～9参照)
3.お車に適した専用ハーネスを使用していますか？
(車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)
4.アースが不安定な場合。
→アースをしっかり固定してください。(P8参照)

C

1.ターボタイマーが作動していませんか？(P20参照)

D

1.メインユニットとアンテナユニットのコネクターはしっかり接続していますか？
(P9参照)

E

1.エンジンはかかるがすぐ止まり、同じことを2回繰り返す。
→L端子配線をしてください。(P17参照)
2.受信するがセルがまわらない。アースが不安定ではないですか？
→アースをしっかり固定してください。(P8参照)
3.セルだけ回ってエンジンがかからない。同じことを1、2回繰り返す。
・セル時間が短い可能性があります。(ガソリン／ディーゼル車)
→アンテナユニットのセルタイムボリュームを長めに調整してください。
(P19参照)
・グロー時間が短い可能性があります。(ディーゼル車)
→メインユニットファンクションスイッチA-4をONにしてください。
(P19参照)
4.エンジンがかかってすぐ止まる。アンテナユニットのERRORランプ(赤色)と
POWERランプ(緑色)が同時に点滅していませんか？
P/N検出エラーです。フットブレーキ配線をしてください。(P16参照)
5.ダイハツムーヴの一部の車種はリモコンでエンジンかけた時、アンテナユニッ
トのPOWERランプが点灯したままセルがまわらずエンジンが始動しないので
B-1のスイッチをONにして下さい。

F

フットブレーキ配線をしてください。(P16参照)

取付け（LED確認表）

接続後の動作確認時や本製品アンテナユニットに下記の表示をした場合、内容と対策／解除方法を表します。

LED確認表

ﾊﾟﾀｰﾝNo.	ランプ名称(色)	ｱﾝﾃﾅﾕﾆｯﾄﾗﾝﾌﾟ表示	表示内容	対策／解除方法
1	ERRORランプ（赤）	○○○○○○○○○○	待機状態	正常作動しています。
	POWERランプ（緑）	○○○○○○○○○○		
2	ERRORランプ（赤）	○○○○○○○○○○	キーがONの状態	正常作動しています。
	POWERランプ（緑）	●●●●●●●●●●		
3	ERRORランプ（赤）	●●●●●●●●●●	リモコンIDコード未登録 (リセットスイッチを押した後、 又はバッテリー交換直後の状態)	リモコンでIDコードを登録してください。 (P18参照)
	POWERランプ（緑）	●●●●●●●●●●		
4	ERRORランプ（赤）	○○○○○○○○○○	キーがOFFで本機作動中の状態 (エンジンスターター又はターボタイマーが作動している時)	正常作動しています。
	POWERランプ（緑）	●○●○●○●○●○		
5	WARNINGランプ（赤）	●○●○●○●○●○	セキュリティーモード　ON	正常作動しています。
	WARNINGランプ（赤）	○○○○○○○○○○	セキュリティーモード　OFF	
6	ERRORランプ（赤）	●○●○●○●○●○	本機作動中にシフトレバーをP(ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ)又はN(ﾆｭｰﾄﾗﾙ)以外に動かして、エンジンがストップした時の状態。	解除するには再度リモコンでスタートさせるか、キーをONの位置までまわしてください。
	POWERランプ（緑）	●○●○●○●○●○	リモコンでエンジンがかからずにこの表示になる場合は、P/N検出のできない車種です。	フットブレーキ配線が必要です。 (P16)参照
7	ERRORランプ（赤）	●○●○●○●○●○	本機作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態	解除するには再度リモコンでスタートさせるかキーをONの位置までまわしてください。
	POWERランプ（緑）	○○○○○○○○○○		
8	ERRORランプ（赤）	●○●○●○●○●○	本機作動中にボンネットスイッチ(Be-960オプション)が働いた状態	解除するにはキーをONの位置までまわしてください。
	POWERランプ（緑）	○●○●○●○●○●		
9	ERRORランプ（赤）	●○●○●○●○●○	バッテリー電圧が下がっている時の状態	バッテリーを交換するか、充電をしてください。
	POWERランプ（緑）	●●●●●●●●●●		
10	ERRORランプ（赤）	●●●●●●●●●●	メインユニットのリレーが溶着しています。	弊社サービス部(0561)36-5654までご連絡ください。
	POWERランプ（緑）	○○○○○○○○○○		
11	ERRORランプ（赤）	●●○●○●●○●○	カーテシ検出エラー (カーテシ配線時のみ)	全てのドアを閉めてリモコンでエンジンスタートしてください。
	POWERランプ（緑）	○○○○○○○○○○		
12	ERRORランプ（赤）	●○○○●○○○●○○	Pポジション検出エラー	キーをONにするか、リモコンでエンジンを始動してください。
	POWERランプ（緑）	○○●○○○●○○○●		
13	ERRORランプ（赤）	●●●○●●●○●●●	ACC検出エラー	キーをOFFにし、エンジンを始動してください
	POWERランプ（緑）	○○●●●○●●●○●		
14	ERRORランプ（赤）	●●●○●●●○●●●	L端子配線ミス	L端子配線場所が違いますので、正しく配線してください。
	POWERランプ（緑）	●○●○●○●○●○		

取付け(メインユニットについて/ファンクションスイッチの設定)

メインユニットには下記の設定をするためのファンクションスイッチがついています。

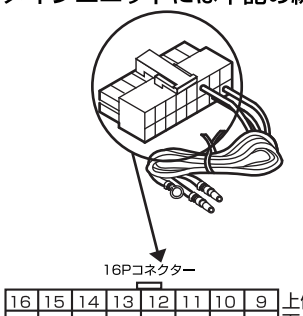
A	スイッチの働き	内　容	OFF	ON
1	Pポジション検出 (注意1)	Pポジション線の電圧が0(v)の車はONにします。12(v)の場合とPポジション線をとらない場合はOFFにします。	12V	0V
2	B-4を有効にする (注意2)	L端子配線をした場合、必ずONにします。又はB-4セルストップ検出を有効にする場合。	自動検出 (B-4無効)	B-4有効
3	セル時間延長(0.5秒)	エンジンを始動する前にセルを止めてしまうお車はONにします。	使用しない	使用する
4	グロー時間	グローの時間を5秒にする場合はOFF、8秒にする場合はONにします。(P19参照)	5秒	8秒

B	スイッチの働き	内　容	OFF	ON
1	IG入力検出の選択 (注意3)	イグニッションキー入力の検出がIG2の車種はONにします。(通常はOFFにします)	使用しない	使用する
2	フットブレーキ配線	フットブレーキ配線をした場合、必ずONにします。	配線しない	配線する
3	ST(セル)出力時のIG2の選択(注意4)	セルをまわしている間、IG2が0(v)になる車はONにします。(P8 3 参照)	12V	0V
4	セルストップ検出 (注意5)	OFFにするとセルボリュームの時間までONにすると、L端子が立ち上がるまでセルを回します。(注意5)	セルボリューム	L端子

注意 1.アイドリング中シフトレバーがP(パーキング)以外で、イグニッションキーが抜ける車輌はPポジション線を接続します。
2.L端子を「OFF」にした場合、自動検出に設定されます。
3.ダイハツムーヴの一部車種でリモコンでかけた時、アンテナユニットのパワーランプが点灯したままセルがまわらずエンジンがかからなかったり、ターボタイマーを使用した場合、キーを抜いてもパワーランプが点灯したままエンジンが停止しない場合があります。その場合はスイッチをONにしてください。
4.この設定をしないとABSランプが点灯したり、エンジンがかからない場合があります。(P8 3 参照)
5.ファンクションスイッチA-2をON(L端子を配線する)にした場合のみ有効です。ほとんどのお車はL端子配線した時スイッチをONにします。しかしONにするとセルが短くてエンジンがかからないお車はL端子の配線をしてもOFFのままにしてセルボリュームで調整して下さい。

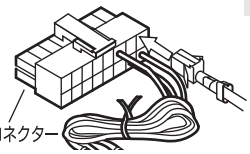
取付け(メインユニットについて/16Pコネクタについて)

メインユニットには下記の線を接続するための16Pコネクターが付属しています。

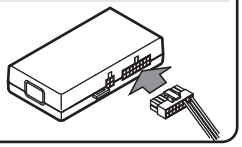


取付け方

①付属16Pコネクターに配線する端子をしっかりと差し込みます。
※差し替えることができませんので注意してください。



①付属16Pコネクターをメインユニットにしっかりと差し込んでください。
※オプション等を後から取付けする場合は一旦、コネクターを抜いてから接続してください。



取付け(メインユニットについて/16Pコネクタについて)

16Pコネクター接続内容

NO.	内容	NO.	内容
1	フットブレーキ(P16参照)	9	ドアポジション線
2	L端子(P17参照)	10	ドアロック線
3	ボンネットセンサー(オプション)	11	アース(P8)
4	ボンネットセンサー(オプション)	12	オートライト(オプション)
5	カーテシ	13	未使用
6	未使用	14	未使用
7	守護神接続線(P21)	15	ハザード配線(オプション)
8	ドアアンロック線	16	Pポジション線（オプション)

■フットブレーキ (NO.1)
本機作動中、フットブレーキを踏んだ時の信号を検出します。(P16参照)

■L端子 (NO.2)
エンジン始動信号を検出します。(P17参照)

■ボンネットセンサー (NO.3・4)
当社別売ボンネットセンサー(Be-960)を接続するための端子です。ボンネットが開いている状態ではリモコンでエンジンはかかりません。

■カーテシ (NO.5)
カーテシ端子線を接続するための端子です。リモコンでエンジン作動中、ドアを開けるとエンジンを強制停止できます。ターボタイマー作動中はドアを開けてもエンジンは停止しません。(P25参照)

■守護神接続線(NO.7)
当社別売自動車盗難警報装置「守護神」との接続に使用します。(P21参照)

■ドアアンロック線(NO.8)
ドアアンロック端子線を接続するための端子です。(P22～24参照)

■ドアポジション線(NO.9)
ドアポジション端子線を接続するための端子です。(P22～24参照)

■ドアロック線(NO.10)
ドアロック線を接続するための端子です。(P22～24参照)

■オートライト(NO.12)
当社別売オートライト(Be-964)を接続するための端子です。スターターやターボタイマーを使用する時、車のオートライト機能「AUTO」にするとヘッドライトが点灯したままになる車種に必要です。

■ハザード配線(NO.15)
当社別売アンサーフラッシュリレー(Be-968)を車輌にハザード線を接続するための端子です。

■Pポジション線(NO.16)
ターボタイマー作動中、シフトレバーがP(パーキング)以外でイグニッションキーが抜ける車輌にPポジション線(Be-963)を接続します。

取付け(フットブレーキ配線)

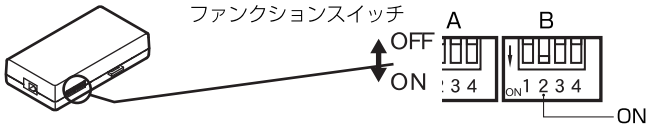
⚠注意

次の車種は、シフトポジション検出が正常にできない可能性があります。その場合は、ファンクションスイッチB-2をONにしてシフトポジション検出を無効にしてください。その際、安全の為必ずフットブレーキ配線を行ってください。

※シフトチェンジの際、必ずフットブレーキを踏むので、シフトポジション検出のかわりとして使用します。

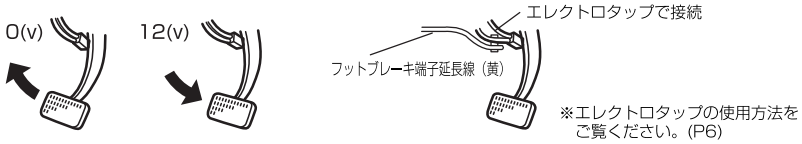
- 日産の全ての車種。※但し、Y33系のシーマ、セドリック、グロリアで、バードビューナビゲーション装着車はパーキングブレーキへ配線してください。
- スターター作動時または、ターボタイマー作動時シフトレバーをP／N以外の位置へ動かした時にエンジンが止まらない車種。（キーがACCの位置）
- シフトレバーがPの位置で、リモコンスタート時にアンテナユニットのERRORランプ（赤）とPOWERランプ（緑）が同時に点滅する場合。
- エアバック等の警告ランプが点灯する車種。

1 メインユニットのファンクションスイッチB-2をONにしてください。



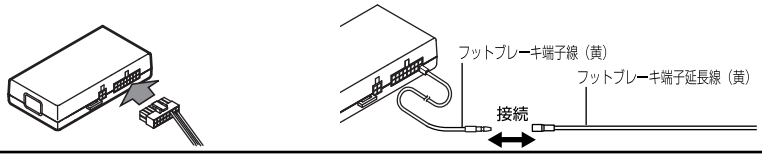
2 付属のフットブレーキ端子延長線（黄）をフットブレーキへ配線してください。

フットブレーキを放した状態で 0(v) 、踏んだ状態で 12(v) の線に付属のフットブレーキ端子線（黄）をエレクトロタップで接続してください。

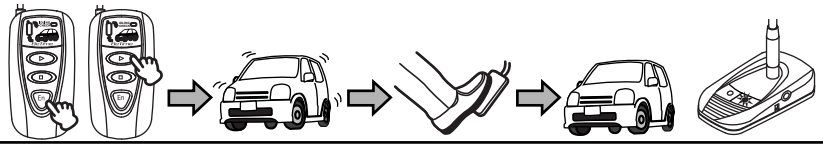


※エレクトロタップの使用方法をご覧ください。(P6)

3 メインユニットに16Pコネクターを差し込んでください。
16Pハーネスから出ているフットブレーキ端子線(黄)とフットブレーキ延長線を接続してください。



4 リモコンでエンジン始動中に、フットブレーキを踏んでエンジンが止まるか確認してください。
(その時、アンテナユニットのLEDがLED確認表P13のNｏ.7を表示しているか確認してください。)



取付け(L端子検出配線について)

■簡略化されたエンジン始動検出（L端子配線省略可能）

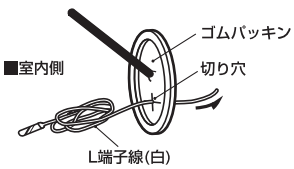
本機には、2種類（自動検出・L端子検出）のエンジン始動検出方法があります。
ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行なえますが、一部車種でできない場合があります。

※自動検出ができなくてL端子の配線を必要とする車種の症状
・エンジンがかかったり止まったりをくり返す。
・セルが回らないにもかかわらず、POWERランプだけ点滅し、本機作動中となっている。
・寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。
又、ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方はL端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。

以下の手順でL端子配線を行ってください。

⚠ 注意
・シフトレバーをパーキング[P]にしてキーを抜いてから作業を行ってください。
・寒い時にチャージランプが消えない車はL端子配線ができない為、別売のアイドリングセンサー(Be-956L)をお求めください。

1 エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開け本機L端子線（白）を図の様に室内側からいれてください。



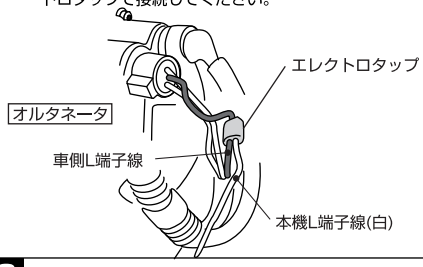
2 車のL端子線(オルタネータの所にあります)まで、本機L端子延長線（白）を配線してください。

3 車のオルタネータにあるL端子を探して下さい。

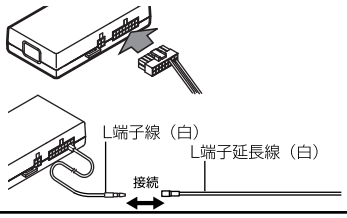
車側L端子の見分け方

キーの位置	ON(セルまで回さないでONで止める)	ON(セルを回してエンジンをかける)
エンジンの状態	エンジン停止時	エンジン始動時
電圧	4V以下	6V以上

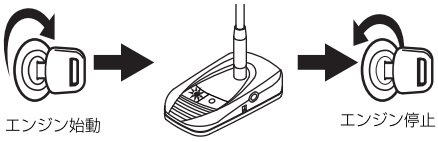
4 車のL端子線と本機L端子延長線（白）を付属のエレクトロタップで接続してください。



5 メインユニットに16Pコネクターを差し込んでください。16Pハーネスから出ているL端子線(白)と付属のL端子延長線(白)を接続してください。



6 キーでエンジンを始動し、アンテナユニットのパワーランプ（緑）が点灯するのを確認後、キーをOFFにしてください。



リモコンの使用方法(ID登録/エンジンを始動、停止させる/アンサーバック確認)

IDコードの登録又は再登録

初めて本機を取付けた時や、バッテリーを交換した時、またリモコンを紛失した時にIDコードの登録を行います。
①パーキングにしてキーをOFFの位置まで回してください。(P11 6 を参照)
②アンテナユニットのファンクションスイッチNO.1をOFFにしてリセットスイッチを押します。
(アンテナユニットのPOWERランプとERRORランプが点灯します。)
③ENスイッチを押した後、リモコンの赤色ランプが点滅している間にスタートスイッチ(▶)とストップスイッチ(■)を同時に押してください。(電波発信時ランプは、赤色点灯)アンテナユニットのPOWERランプとERRORランプが消灯すればセット終了です。

リモコンでエンジンを始動させる

(リモコンを操作する時は、アンテナを伸ばしてください。)

1.ENスイッチを押します。 	2.LEDが点滅中に、スタートスイッチ(▶)を押します。 ※電波を受信した時は ♪「ハレルヤメロディー」 電波を受信しなかった時は ♪「ショックな音」 が鳴ります。 ※LEDが点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。

リモコンでエンジンを停止させる

(リモコンを操作する時は、アンテナを伸ばしてください。)

1.ENスイッチを押します。 	2.LEDが点滅中に、ストップスイッチ(■)を押します。 ※電波を受信した時は ♪「ハレルヤメロディー」 電波を受信しなかった時は ♪「ショックな音」 が鳴ります。 ※LEDが点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。

エンジンが始動しているか確認する(アンサーバック確認)

リモコンでエンジンをかけた後、以下の動作を行ってください。

1.ENスイッチを押します。 	2.送信ランプが点滅中に、スタートスイッチ(▶)を押します。 ※LEDランプが点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。	3.エンジンがかかっていれば IDLING CHECKランプが点灯し、 ♪「ハッピーメロディー」(橙色点灯) かかっていなければ♪「ハレルヤメロディー」 (エンジンを始動します) 電波受信できなかった時は ♪「ショックな音」 ハッピー♪

リモコンの使用方法(リモコンの追加登録方法)

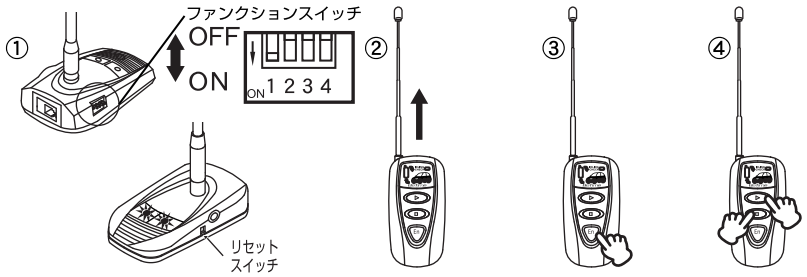
■本製品は付属のリモコン以外に予備のリモコンを持つ事ができます。1台の車を共有しているご家族の方々に最適です。

追加リモコン登録方法

・守護神SS-300リモコン登録をしている場合は、IDメモリーが消去され使用できなくなります。

①パーキングにし、キーを抜いた状態で、アンテナユニットのファンクションスイッチNO.1をONにします。(登録時のみONにします。) その後、RESETを押してください。(アンテナユニットのPOWERランプとERRORランプが点灯します。)
②リモコンのアンテナを十分にのばします。
③リモコンのEN スイッチを押します。
④リモコンの送信ランプが点滅している間にスタートとストップスイッチを同時に押します。
⑤アンテナユニットランプが全て消えれば登録完了です。

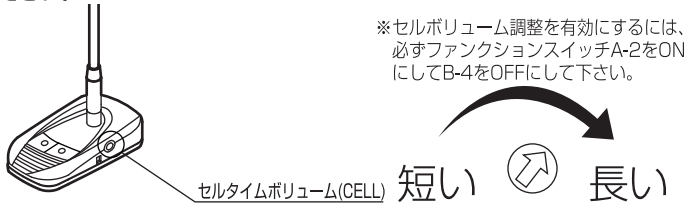
(アンテナユニットのファンクションスイッチNO.1を、OFFで使用していた場合は、OFFに戻します。)



アンテナユニットの操作方法(セル&グロー時間の設定)

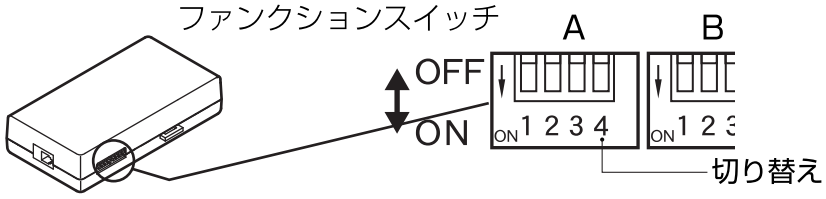
■セル時間の調整の仕方

アンテナユニットにはセル時間を調整するボリュームがあります。ドライバーを使用して調整をしてください。



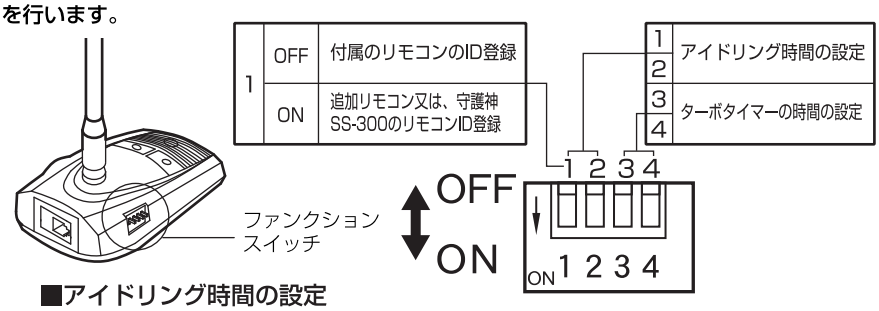
■グロー時間の調整の仕方

グロー時間の調整はメインユニットのファンクションスイッチを切り替えて行います。5秒の場合はA-4をOFFにし、8秒の場合はA-4をONにしてください。(ほとんどのガソリン車は5秒、ディーゼル車は8秒です)



アンテナユニットの操作方法(アイドリング時間とターボタイマーの設定について)

■アイドリング時間設定はアンテナユニット(ファンクションスイッチNo.1・2)で設定を行います。
■ターボタイマーの時間設定はアンテナユニット(ファンクションスイッチNo.3・4)で設定を行います。



■アイドリング時間の設定

ファンクションスイッチ / アイドリング時間	アンテナユニット(ファンクションスイッチ)	
	No.1	No.2
10分にするには	OFFにします	OFFにします
20分にするには	ONにします	OFFにします
30分にするには	OFFにします	ONにします
40分にするには	ONにします	ONにします

■ターボタイマー時間の設定

⚠ 危険

※ターボタイマーを作動させる場合、必ず下記の確認をお願いします。
一部車種でターボタイマー作動中、シフトレバーがP(パーキング)、N(ニュートラル)の位置以外でIGキーをOFFにして抜けてしまうものがあります。その場合は、オプションPポジション線(Be-963)をシフトレバーをP(パーキング)の位置に動かした時に、12V又は0Vの変化※1ある車輌側線に接続してください※2。キーを抜いてもパワーランプが点灯したままエンジンが停止しない場合があります。その場合はメインユニットのファンクションスイッチB-1をONにして下さい。
※1メインユニットのファンクションスイッチA-1をどちらかに設定します。(P14)
※2メインユニットの16PコネクターNo.16のピンへ接続してください。(P15)

ファンクションスイッチ / ターボタイマー	アンテナユニット(ファンクションスイッチ)	
	No.3	No.4
使用しない	OFFにします	OFFにします
30秒	ONにします	OFFにします
1分	OFFにします	ONにします
5分	ONにします	ONにします

機能説明(セキュリティー機能と守護神連動について)

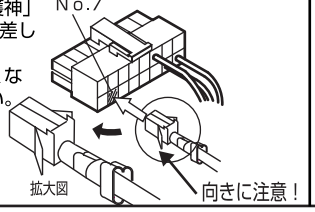
■セキュリティーモードとは

アンテナユニットに内蔵している高輝度LED（WARNINGランプ)を発光させて不審者に心理的威圧感を与えるものです。セキュリティーモードONの時はWARNINGランプが点滅します。

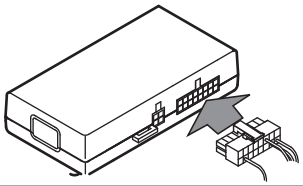
■当社別売自動車盗難警報装置「守護神」との接続方法

A-54へのリモコンで、当社別売自動車盗難警報機「守護神」を、スタート/ストップすることができます。

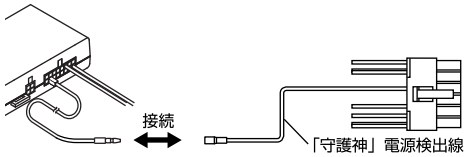
①16PコネクターのＮｏ.7に自動車盗難警報装置「守護神」接続端子線(茶)をしっかり差し込んでください。
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



②メインユニットにコネクターを差し込んでください。



③本機の自動車盗難警報装置「守護神」接続端子線(茶)と「守護神」付属コネクターの電源検出線(茶)を接続して下さい。



守護神連動操作について

●セキュリティーモードと「守護神」をスタートする場合
リモコンスタートスイッチ(▶)を2度押しします。
(ドアロック連動)
●セキュリティーモードと「守護神」を解除する場合
リモコンストップスイッチ(■)を2度押しします。
(ドアアンロック連動)また、キーをONにしても解除できます。(セキュリティーモードのみ)
●セキュリティーモード消去の場合
リモコンENスイッチを5秒以上押してください。
●セキュリティーモード復帰の場合
再度リモコンENスイッチを5秒以上押してください。

⚠ 注意 10日以上車を走行させない時は必ずセキュリティーモードをOFFにしてください。バッテリー電圧が低下する可能性があります。

守護神SS-300のリモコンでのA-54エンジンスタート・ストップについて

SS-300のリモコンを使用するには、必ずID登録を行ってください。

●ID登録
1.A-54アンテナユニットのファンクションスイッチNO.1をONにしてリセットスイッチを押します。
2.SS-300のリモコンのエントリースイッチ(EN)を押し送信ランプ点滅時にスタート(▶)・ストップ(■)スイッチを同時押しします。
3.A-54アンテナユニットのパワーランプ・エラーランプが消灯したら終了です。

●SS-300のリモコンでエンジンスタートする場合は、エントリースイッチ(EN)とスタートスイッチ(▶)を同時押しします。
●エンジンストップする場合はエントリースイッチ(EN)とストップスイッチ(■)を同時押しします。
●エンジンがかかっているか確認する場合は、エントリースイッチ(EN)とスタートスイッチ(▶)を同時押しします。

機能説明(ワイヤレスドアロック機能について)

本機リモコンでドアロック・アンロック作動させることができます。

■接続方法

自動車メーカーや車種によってワイヤレスドアロック接続方法が異なります。また、本製品以外に別売ワイヤレスドアロックアダプターを必要とする車種がありますので注意してください。

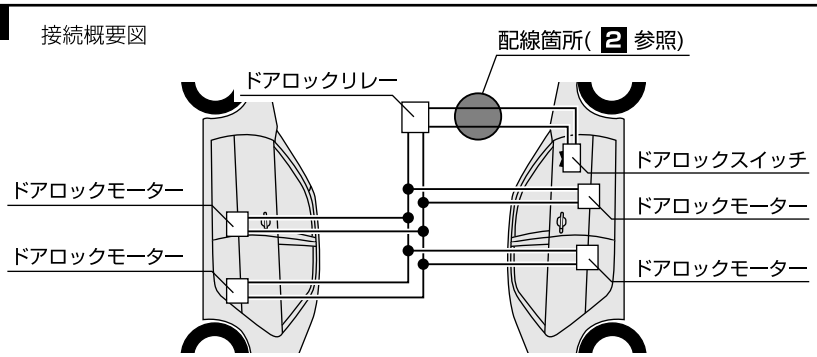
Aタイプ‥‥‥本製品だけで(オプション品を購入しなくても)作動するタイプ
適応車種‥ほとんどのトヨタ車
Bタイプ‥‥‥別売ワイヤレスドアロックアダプター(Be-965)が必要なタイプ
適応車種‥トヨタ車以外

※但し、下記に示す車輌には使用できません。
●弊社車種別専用ハーネス適合表にてドアロック·アンロック作動可能と明記のない車種。
●トヨタ車以外で、純正キーレスがついていない車種。　●多重通信車
●集中ドアロック制御できない車種。
●弊社以外のセキュリティーシステム装着車(ドアロック連動タイプ)

■接続方法

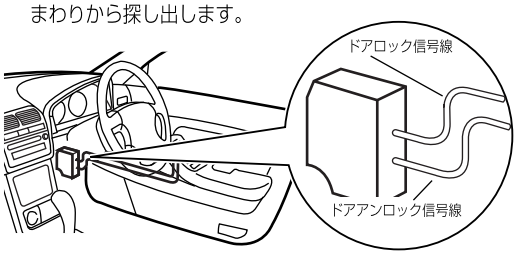
Aタイプ　本製品だけで(オプション品を購入しなくても)作動するタイプ

1 接続概要図



2 車輌側ドアロック・アンロック線を探してください。

ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックまわりから探し出します。



※場所は車種によって異なります。

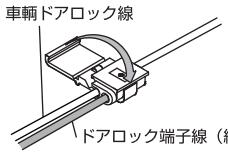
ドアロック線(通常12V)
ドアロック動作時→0V 動作後→12V

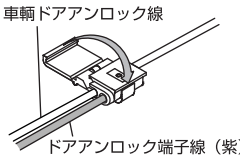
ドアアンロック線(通常12V)
ドアアンロック動作時→0V 動作後→12V

機能説明(ワイヤレスドアロック機能について)

Aタイプの続き

3 ドアロック・ドアアンロック端子線（緑・紫）を項目 **2** で探したドアロック線・ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップで接続します。

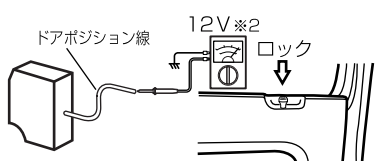


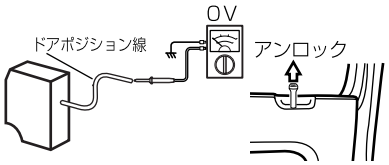


※確認（必ず行ってください）

エレクトロタップで接続後、延長線をボディーアースに接触させ、ドアロック、ドアアンロックが作動するか確認します。

4 項目 **3** の確認でドアアンロックが作動しない場合、ドアポジション信号が必要となります。（トヨタ系又はニッサン系の一部車輌）ドアアンロックが作動する場合は、項目 **6** へ進んでください。

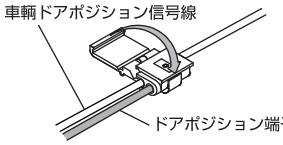




ドアロックノブを操作してロック時に12V※2、アンロック時に0Vになる線を探します。

※2.一部の車種で、パルス信号のため、12V出力しないものがあります。

5 項目 **4** で探したドアポジション信号線にドアポジション端子線（桃）をエレクトロタップで接続します。

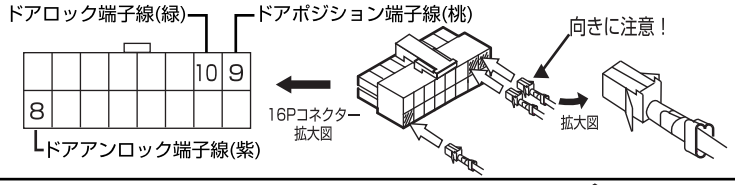


※確認（必ず行ってください）

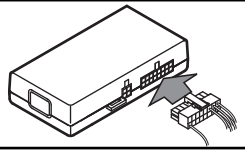
エレクトロタップで接続後、ドアポジション延長線、ドアアンロック延長線をボディーアースに接触させ、ドアアンロックが作動するか確認します。

6 16PコネクターのＮｏ.8にドアアンロック端子線(紫)を
〃　　Ｎｏ.9にドアポジション端子線(桃)を
〃　　Ｎｏ.10にドアロック端子線(緑)を
しっかり差し込んでください。

※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



7 メインユニットにコネクターを差し込んでください。



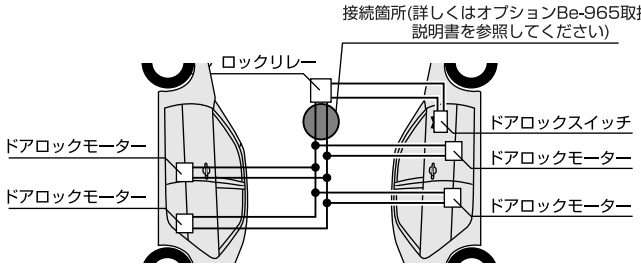
機能説明(ワイヤレスドアロック機能について)

Bタイプ　別売ワイヤレスロックアダプター(Be-965)が必要なタイプ

1　接続概要図

ドアロック線(通常0V)・・・・・・ロック時は12Vになり、動作後は0Vに復帰する線です。

ドアアンロック線(通常0V)・・・・アンロック時は12Vになり、動作後は0Vに復帰する線です。



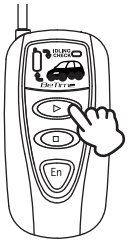
機能説明 (ワイヤレスドアロック機能の使用方法)

■使用方法

1　●ドアロックする時

・ドアロックのみ
▶スイッチを
2秒以上押してください。

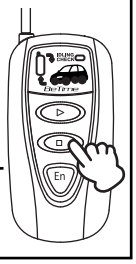
・セキュリティーモードスタート+守護神連動
▶スイッチを
2度押ししてください。



2　●ドアアンロックする時

・ドアアンロックのみ
■スイッチを
2秒以上押してください。

・セキュリティーモードストップ+守護神連動
■スイッチを
2度押ししてください。



⚠ 注意　オートロック機能について

本機リモコンでアンロックした場合、約30秒後に自動的にロックされますのでインロックにはご注意ください。
オートロック機能解除の方法(次の**1**か**2**の動作を行って下さい。)

1【その都度解除する方法】
カーテシ配線(P25)をしてドアアンロック後約30秒以内にドアを開けてください。
(但し、リモコンでエンジン作動中は約15秒後にエンジンが停止します。)

2【オートロック機能を消去する方法】
①キーをOFFからACCにして約2秒以上待ってください。
②キーをOFFに戻します。
③キーをONの位置に回して2秒以上待ってください。
④キーをOFFに戻します。
⑤リモコンストップスイッチ(■マーク)を押し、リモコンLED点滅中に再度ストップスイッチを押してください。
※インジケーターパネルの警告ランプ等がON・OFF2回点滅を繰り返せば完了です。
消去後、同じ動作を行えばオートロック機能は復帰します。その時インジケーターパネルの警告ランプ等がON・OFF1回点滅します。

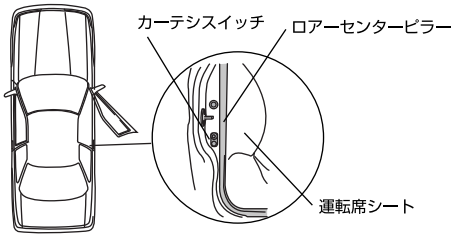
機能説明(カーテシ検出による安全機能【任意配線】)

■リモコンでエンジン作動中ドアを開けると15秒後にエンジンを停止させる事ができます。

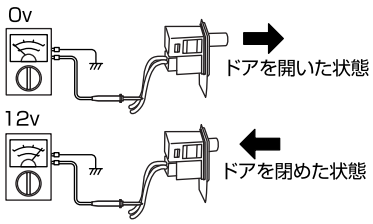
注1.ドアを開けた状態でリモコンでスタートをしてもエンジンは始動しません。必ずドアを閉めた状態でリモコンでスタートしてください。

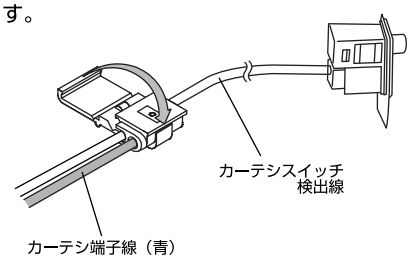
注2.リモコンでエンジン始動中、ドアを開けてから約15秒以内にイグニッションキーをONの位置まで回すと、エンジンは停止しません。

1 運転席側ロアーセンターピラーのカバーをはずします。

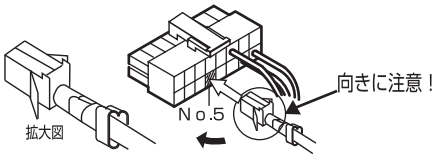


2 車輌側カーテシ検出線をテスター等で探し,付属のカーテシ端子線（青）と車輌側カーテシ検出線をエレクトロタップで接続します。

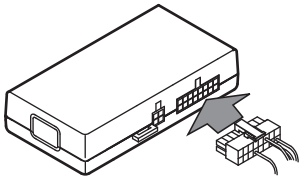




3 ①16PコネクターのＮｏ.5に付属のカーテシ端子線(青)をしっかり差し込んでください。
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



②メインユニットにコネクターを差し込んでください。



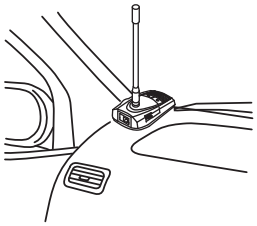
4 リモコンでエンジン始動中、ドアを開けて約15秒後にエンジンが停止するか確認してください。（LED確認表(P13)のNO.11を表示しているか確認してください。）

アンテナ・メインユニットの固定方法

■アンテナユニットの取付け・配線

⚠ **注意** ・アンテナユニットは視界の妨げにならない場所に取付けてください。
・アンテナユニットは、エアバック（助手席・サイド含む）の作動に影響の無い場所に取付けてください。
・両面テープを貼る際は、あらかじめ汚れや脂分をよくふきとってから貼ってください。

アンテナユニットを付属の両面テープで、車外からアンテナが見える場所にしっかりと固定します。

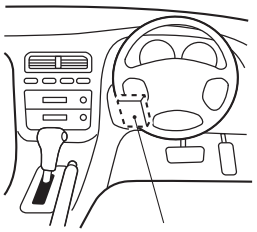


ダッシュボード取付け例

■メインユニットの取付け

⚠ **注意** ・メインユニットの固定・配線を行う前に、作動確認（P10～12）を行ってください。
・エアコンやヒーター等の熱風を受ける場所・直接日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付は避けてください。

運転の妨げにならない場所に、付属のインシュロックを使ってしっかりと固定してください。
（アンダーカバー内側等）



（例：この部分に取付けます。）

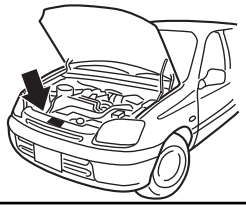
(警告ステッカーの貼り付け場所)

■警告ステッカーについて

・本機を取付けた車を第三者が使用又は整備をする場合、安全にお使い頂くため付属の「警告ステッカー」を必ず貼り付けてください。

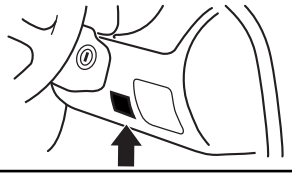
1 警告ステッカー（大）の貼り付け場所

・ボンネット（ワンボックス車の場合エンジンルームカバー）を開けた時、エンジンの熱を直接受けない目立つ場所に貼り付けます。



2 警告ステッカー（小）の貼り付け場所

・ボンネットオープナー（ワンボックス車の場合エンジンカバーフック）付近に貼り付けます。



運転するには

■運転するには

本機リモコンでエンジンをかけた状態だけでは走行できません。
運転するときは、必ずキーをONの位置までまわしてから走行してください。

※フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずにONの位置まで回してください。
（フットブレーキ配線をしている時は、キーをONにしない状態でフットブレーキを踏むとエンジンが止まります。）

⚠ 注意

・キーをSTARTの位置までまわすと、セルモーターが故障するおそれがある為、必ずONの位置でキーを止めてください。
・キーをONの位置までまわさずに走行すると、走行中エンジンが停止し、パワーステアリングが効かなくなる等大変危険です。

リモコンを紛失したときは

リモコンを紛失または破損した場合

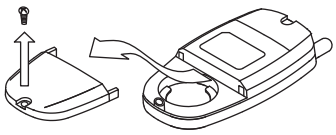
新しいリモコン(別売)だけを購入すればIDコードを既存のアンテナユニットに再登録することによりすぐにご使用いただけます。　別売リモコン　オープン価格
IDコードの登録方法はP18(IDコードの登録)に記載しています。

リモコンの電池交換について

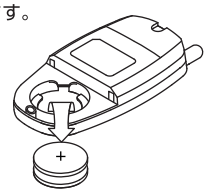
⚠ 注意

・電池寿命の目安は新品の電池で１日２回使用した場合、約１年間持ちます。
(出荷時は新品の電池をセットしていますが、自然放電や使用する条件によって１年以下の場合があります。)
・リモコンはリチウム電池(CR2032)を２個使用しています。それ以外の電池は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

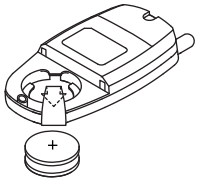
1 電池カバーのネジを外し、矢印の方向へずらして取り外します。



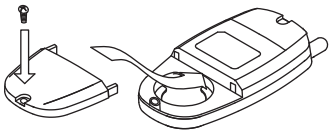
2 電池(CR2032)を矢印の方向に従って１個づつ取り外します。



3 新品の電池(CR2032)を矢印の方向に従い＋を上向きにして１個づつ入れます。



4 電池カバーを閉め、ネジをしめます。



アフターサービスについて

■保証書

保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証期間

ご購入日から3年間です。

■修理を依頼されるとき

「取付け・接続完了後の作動確認」と「故障かな？と思ったら」(P28)のページを参照し点検をしていただいても、なお異常のある時は故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

○保証期間内の場合
恐れ入りますが、取付け販売店に取付け車輌と保証書をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

○保証期間が経過している場合

■アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

■リモコンを紛失または破損

リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。
再度購入されたリモコンの再登録の方法は、P18「IDコードの登録」をお読みください。

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

■保証書

保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証期間

ご購入日から3年間です。

■修理を依頼されるとき

「取付け・接続完了後の作動確認」と「故障かな？と思ったら」(P28)のページを参照し点検をしていただいても、なお異常のある時は故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

○保証期間内の場合
恐れ入りますが、取付け販売店に取付け車輌と保証書をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

○保証期間が経過している場合

■アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

■リモコンを紛失または破損

リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。
再度購入されたリモコンの再登録の方法は、P18「IDコードの登録」をお読みください。

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

仕様

■送信機（リモコン）

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯　10波のうち1波
識別IDコード	1000万種
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数偏位	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHz帯　10波のうち1波
受信感度	−116dBm以下で安定動作
局発安定度	±4ppm以内
送受信アンテナ	内蔵ロッドアンテナ
動作温度範囲	−20℃～＋60℃
使用電池	リチウム電池　CR2032×2
ケース寸法	32.5（W）×64（H）×16（D）mm
重量	33g（電池含む）

■アンテナユニット

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯　10波のうち1波
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数変移	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以内
受信周波数	429.2MHz帯　10波のうち1波
受信感度	−116dBm以下で安定動作
送受信アンテナ	1／4λホイップアンテナ
動作温度範囲	−20℃～＋70℃　温度センサー温度誤差範囲　±2℃
電源電圧	12v車専用(DC8v～16v)
消費電流	待機時10mA以下(セキュリティーモードオフの時)
ケース寸法	49（W）×79（H）×20（D）mm
重量	76g

■メインユニット(リレー部)

リレー容量・個数	40A×2（IG1・IG2）
	25A×4（ACC・ST1・ST2・ST- CONT ）
寸法	66.5（W）×127.5（H）×29（D）mm
重量	250g（コード含む）